

がん感染症疾病対策課感染症対策係  
 担当 中山 長藤  
 直通：092-643-3597  
 内線：3066

## 福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和6年第28週（令和6年7月8日～令和6年7月14日）

福岡県感染症情報センター

### ■ コメント

- 夏休みに入り、大人数で集まる機会や海外旅行が多くなる時期です。新型コロナウイルス感染症等多くの定点把握疾患の報告数が増えていますので、手洗いや手指消毒、換気、適切なマスクの着用、咳エチケット等の基本的な感染対策を心がけ、体調を整えるようにしましょう。海外旅行の際は、渡航先で発生している感染症の予防方法を知ることが大切です。詳しくは、厚生労働省ホームページ「海外へ渡航される皆様へ」([https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou18/index\\_00003.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou18/index_00003.html))をご覧ください。
- 福岡県感染症情報ホームページ([https://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc\\_fukuoka/](https://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/))では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

### ■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	6	475	233	7,860
腸管出血性大腸菌感染症	4	77	129	1,129
チクングニア熱	1	1	0	1
アメーバ赤痢	1	17	8	272
ウイルス性肝炎	1	1	4	111
カルバペナム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	62	33	994
急性弛緩性麻痺	1	1	0	18
後天性免疫不全症候群	1	33	13	521
梅毒	9	421	210	7,101
百日咳	3	39	62	611

### ■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル

：注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	2,955	14.92	1.32	39,874	8.07
インフルエンザ	79	0.40	0.92	1,395	0.28
RSウイルス感染症	663	5.53	1.21	5,044	1.61
咽頭結膜熱	62	0.52	1.24	2,111	0.67
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 （警報レベル）	815	6.79	0.98	10,707	3.41
感染性胃腸炎	531	4.43	0.92	12,393	3.95
水痘	21	0.18	0.49	715	0.23
手足口病（警報レベル）	1,653	13.78	1.02	35,960	11.46
伝染性紅斑	0	0.00	0.00	319	0.10
突発性発しん	47	0.39	1.62	949	0.30
ヘルパンギーナ	340	2.83	0.95	6,754	2.15
流行性耳下腺炎	8	0.07	1.14	214	0.07
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	21	0.03
流行性角結膜炎	11	0.42	3.67	438	0.63
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	8	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	11	0.02
マイコプラズマ肺炎	14	0.93	1.27	235	0.49
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	6	0.01

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。

■ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点あたり報告数が高い状況が続いています。

【感染経路】

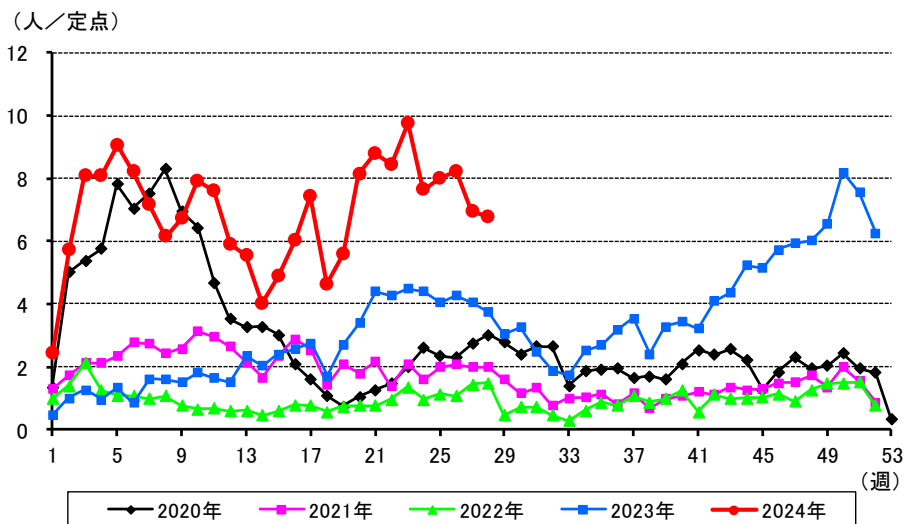
患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛まつ感染」、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」、食品を介して細菌が口に入って感染する「経口感染」があります。

【症状】

38℃以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌等があります。熱は3日から5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。まれに重症化し、喉や舌、全身に発赤が広がる「猩紅熱（しょうこうねつ）」に移行することがあります。また、発症原因、病態等は不明ですが、劇症型溶血性レンサ球菌感染症を起こすこともあります。

【感染対策】

予防には、手洗いや咳エチケットが有効です。



■ 手足口病の定点あたり報告数が高い状況が続いています。

【感染経路】

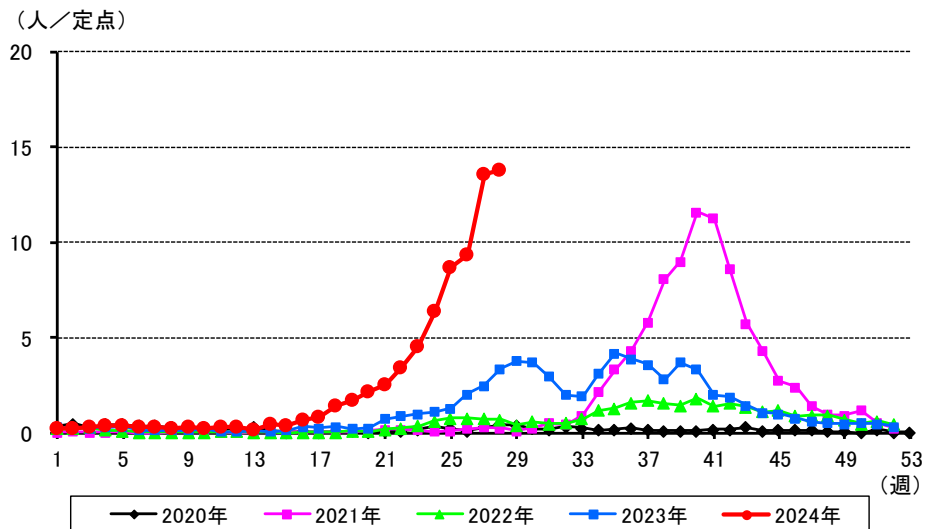
患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛まつ感染」、水疱の内容物や便に排出されたウイルスが手などを介し、口や眼などの粘膜に入って感染する「経口感染・接触感染」があります。

【症状】

3～5日の潜伏期間の後、口の粘膜・手のひら・足の甲または裏などに水疱性の発疹が現れます。発熱は高熱になることはあまりありません。一般的に軽症で、発疹は3～7日で消失します。重症化はまれですが、合併症として急性脳炎や心筋炎があげられます。

【感染対策】

予防には、手洗い、咳エチケットが有効です。発疹が消えた後も、3～4週間は便にウイルスが排泄されるため、手洗いを徹底し、幼稚園、保育園、学校など集団生活ではタオルの共用を避けましょう。



■ **新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の定点あたり報告数が増加しています。**

【感染経路】

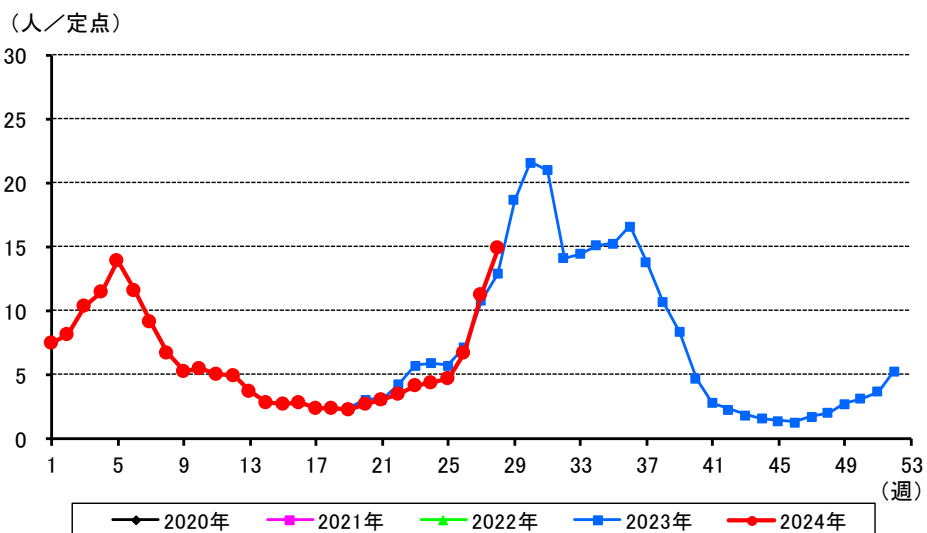
患者の咳やくしゃみ、会話等のときに排出される、ウイルスを含む飛まつ又はエアロゾルと呼ばれる更に小さな水分を含んだ状態の粒子を吸い込むことによる「飛まつ感染」、患者の目や鼻、口に直接的に接触することにより感染する「接触感染」があります。

【症状】

発熱、呼吸器症状（咳、咽頭痛）、頭痛、倦怠感（だるさ）などがあります。また、下痢、嘔吐、嗅覚・味覚障害も起こることがあります。

【感染対策】

予防には、手洗いや手指消毒、換気、適切なマスクの着用を含めた咳エチケット等が有効です。



**各種感染症の拡大防止のため、基本的な感染対策を心がけ、体調を整えるようにしましょう。**